

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

高砂香料工業株式会社（証券コード:4914）

【据置】

長期発行体格付 格付の見通し	A- 安定的
-------------------	-----------

■格付事由

- 1920年創業の国内最大手の香料メーカー。フレーバー（食品香料）、フレグランス（洗剤や芳香剤などの香料）、アロマイングリディエーツ（メントールなどの合成香料）、ファインケミカル（医薬品中間体など）などを手掛ける。60年より海外に進出し、現在は28の国や地域で事業を展開する。技術、品質保証、サステナビリティへの取り組みなど供給責任を果たす総合力を磨き、マルチナショナル顧客との関係構築に注力している。海外売上高比率は約6割で、米州、欧州、アジアでバランス良く売り上げを上げている。
- 安定した事業基盤が保たれている。香料は日常生活に欠かせないものであり、世界の需要は拡大している。当社は国内外で幅広い顧客と良好な関係を構築しており、販売には安定感がある。香料事業の利益は原材料価格の変動の影響を受けやすいが、都内の不動産事業が安定収益源となっているほか、ファインケミカルが好調である。当面、キャッシュフローを底堅く確保できると想定される。また、財務体質は健全で、成長投資は財務面に配慮して実施する方針である。以上により、格付を据え置きとし、見通しを安定的とした。
- 23/3期の会社計画の売上高は1,725億円（前期比6.2%増）、営業利益は50億円（同43.3%減）である。香料の販売は、飲料用や芳香剤用の堅調な推移に加え、香水用がコロナ禍の落ち込みから回復しており、総じて順調である。ファインケミカルは、不斉合成技術や連続フロー生産の強みを生かし、メガファーマなどからの受注を伸ばしている。利益面では、足元で原材料やエネルギー価格の上昇による香料事業への悪影響が強まっている。コスト上昇を踏まえた販売価格の適正化や主要顧客への販売増などを通じ、利益体質を改善していけるかが注目点である。
- 自己資本は22/3期末に1,000億円に達し、自己資本比率は18/3期末以降50%を上回って推移している。有利子負債は16/3期末をピークに減少傾向にあり、財務構成は良好で、かつ改善基調にある。今後、生産設備の大規模修繕や合成事業生産体制の再構築などの設備投資を実施する計画だが、DEレシオは0.5~0.7倍を目途とするなど、規律のある財務運営が行われている。成長投資により財務構成が大きく悪化する懸念は小さいと考えられる。

（担当）藤田 剛志・佐藤 洋介

■格付対象

発行体：高砂香料工業株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年12月15日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：藤田 剛志
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「化学」(2022年6月15日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 高砂香料工業株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル